



勢いよく燃えあがる北上新田の「さいの神」。



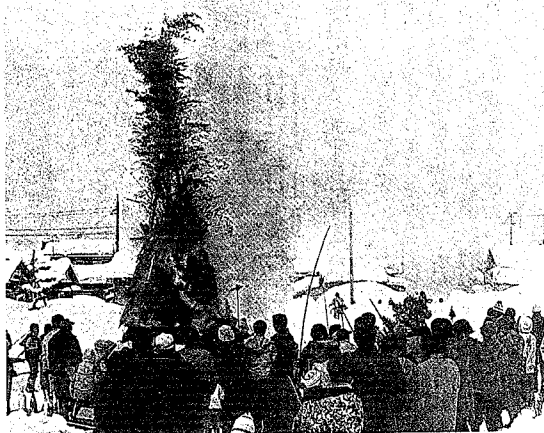
昔は、「さいの神」の中で、もちやスルメなどを焼きました（さいの神の中で遊ぶ北上新田の子どもたち）

「さいの神」に 今年の幸せを祈る

今年も、小正月をいりどる伝統の「さいの神」行事が、各地でにぎやかに行われました。

北上新田では、部落をあげてこの伝統行事に取り組み、老人クラブやPTA、子どもたちが中心となり、約6メートルのワラの塔を作りあげました。そして、部落内だけでなく、美幸町の子どもたちにも参加を呼びかけました。午後6時過ぎ、子どもたちが「さいの神」に火を入ると赤々と燃えあがり、中の竹が勢いよくはじけます。豪雪の中での「さいの神」となりましたが、集まった人たちは、寒さも忘れ、今年一年の幸せを願っていました。

このほか、中新田では43年振りに「さいの神」が復活するなど、各地で伝統行事が見直されています。



43年振りに復活した中新田の「さいの神」。

広報

にこ

2/1
531号
昭和60年

人口の異動

人口		12月中の動き			
■人口	64,665(+60)				
男	31,366	□出生	65	□死亡	37
女	33,299	□転入	138	□転出	106
■世帯数	16,786(+15)	□結婚	40	□離婚	4
12月31日現在					

- …主な内容…○
- ▶市長に斎藤富雄氏、市議に加藤公部氏が当選……………②
 - ▶「ともに歩む市民市政を」——市長就任ごあいさつ……………②
 - ▶健康づくりは運動とカロリーの自己管理から……………④⑤
 - ▶市消防職員を募集します……………⑧